

図⑱：環境やコストなどからみた西条地区の地下水米

豊富な地下水を利用した環境に優しい西条地区の稲作



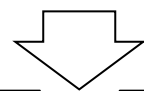
頭首工下流の減水区間

頭首工下流では流量が減少するため、魚類等水生生物の生息環境への影響が懸念されます。



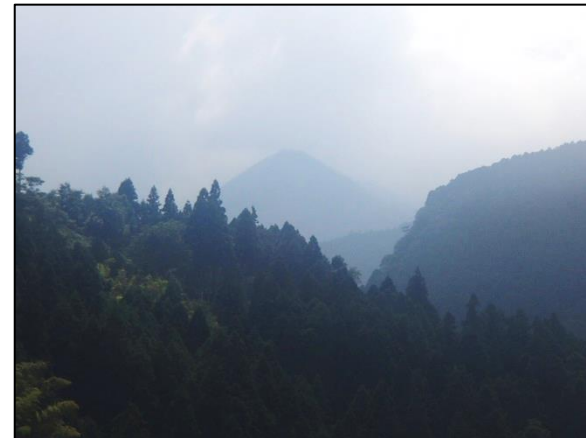
農業用水路

農用地の高度利用を目的とした用水路。直線化されており、本来の小河川とは環境が異なります。



うちぬきを用いた米作

河川に依存しない稲作。農繁期の地下水温は河川水の水温より低い傾向にあるため工夫が必要。



地下水を涵養する森

雨水を地中にしみ込ませる機能を有する森林。地下水を持続的に利用するために維持管理や保全が重要。

表 地域等別の米1,000tあたりの地下水利用量

地域名もしくは都道府県名	水稲収穫量 (t/年)	水田地下水利用量 (千m ³ /年)	米1,000tあたりの地下水利用量 (千m ³ /年/t)	備考
新居浜平野	17,510	52,708	3,010	(西条市・新居浜市)
松山平野	15,690	12,507	797	(松山市・伊予市・松前町)
今治平野	7,310	11,956	1,636	(今治市)
愛媛県	71,200	89,461	1,256	
新潟県	619,200	38,741	63	
北海道	602,600	15,864	26	
秋田県	522,400	84,497	162	
山形県	400,900	35,684	89	
福島県	365,400	12,821	35	

注1) 新居浜平野、松山平野、今治平野の水田地下水利用量は水田だけでなく、畑地等に利用された地下水量を含む

注2) 新居浜平野の水稲収穫量内訳：西条市15,800t、新居浜市1,710t

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。